

### 3 その他の調査一覧

平城宮跡発掘調査部が1997年度に実施した発掘調査で、本巻に掲載しなかったものを表20に示す。

調査次数	地 区	發掘区	検出遺構	出土遺物
282-1	右京三条一坊十六坪	東西3m×南北4m	中世以降の溝・土坑など	平瓦4点、丸瓦14点、壇1点
282-5	左京三条二坊六坪	東西7m×南北5.2m	東西方向に並ぶ柱穴2基と南北溝1条 既調査区との関係から奈良時代の遺構	平瓦8点
282-8	右京三条一坊九坪	東西4m×南北7m	掘立柱柱穴2基(時期不明)	平瓦5点、丸瓦4点
282-9	宮北方遺跡	L字型トレンチ(幅約3m、東西2.8m×南北8m)	浅い谷状をなす地山面の落ち込み 奈良時代の瓦片を含む整地土で埋め立てる	平瓦69点、丸瓦23点
282-15	頭塔(史跡整備)	L字型トレンチ(幅約60cm、東西5.9m×南北3.4m)	第7段石積解体にともなう調査 第7段石積最下段部分を検出	軒平瓦6732Fa型式1点、 平瓦15点、丸瓦7点

表20 1997年度 その他の調査一覧表

### 平 城 専 こらむ 欄 ④

#### ◆『むれしか』100回

奈良県警察の月刊誌・『むれしか』の表紙裏に、発掘成果をもとにした

原稿を掲載して9年の年月が経過した。平城調査部員が、400字以内という制限の中で書きつづってきた小論

文は、平成10年の9月号で記念すべき第100回目を迎える。記念号の執筆ははたして誰の手に!? (T)

No.	年月	表題	執筆者	No.	年月	表題	執筆者	No.	年月	表題	執筆者
1	90 5	役人の七つ道具	町田 章	35	93 3	木簡の筆跡鑑定	寺崎 保広	69	96 2	井戸のはなし、みたび	加藤 真二
2	90 6	富をよぶお金	金子 裕之	36	93 4	日本のビラミッド(頭塔)	高瀬 要一	70	96 3	反逆罪と財産刑	古尾谷知浩
3	90 7	奈良時代の鏡	杉山 洋	37	93 5	古代の寺参り	山岸 常人	71	96 4	奈良山の瓦工場	岸本 直文
4	90 8	指紋と考古学	佐川 正敏	38	93 7	呪いの人形	小林 謙一	72	96 5	長屋王作宝樓	小野 健吉
5	90 9	建物部材のひな形	松本 修自	39	93 8	鳳凰紋鬼瓦	毛利光後彦	73	96 6	掘立柱の柱穴	長尾 充
6	90 10	平城京の道路	小野 健吉	40	93 9	橋の欄干をかざる擬宝珠	岸本 直文	74	96 7	平城京の銅錢(和同開珎)	白杵 熊
7	90 11	平城京犯罪事情	館野 和己	41	93 10	奈良の鹿今昔	館野 和己	75	96 8	ガラスを作ったルツボ	川越 俊一
8	90 12	奈良時代の情報処理	小池 伸彦	42	93 11	平城宮東院庭園の植栽	内田 和伸	76	96 9	譯(ちゅう)のお話	井上 和人
9	91 1	隼人の盾	玉田 芳英	43	93 12	造酒司の御井	浅川 澄男	77	96 10	都に届けられた封戸の帳簿	山下信一郎
10	91 2	住宅の柱	小澤 穀	44	94 1	酒甕の封印	町田 章	78	96 11	柱根のこと	長尾 充
11	91 3	少年犯罪の木簡	森 公章	45	94 2	二条山の石	加藤 真二	79	96 12	コロンボ警部の眼	高瀬 要一
12	91 4	平城宮と京の下水道	本中 真	46	94 3	長屋王の御枕絵が描いた猿の下絵	巽淳一郎	80	97 1	木製造物を保存する	高妻 洋成
13	91 5	正倉院建築のルーツ	浅川 澄男	47	94 4	修理司の瓦	次山 淳	81	97 2	「五十戸」の人々	金田 明大
14	91 6	古代の品質管理	森本 晋	48	94 5	木簡と墨書き土器	森 公章	82	97 3	なにわ風のかわら	清野 孝之
15	91 7	羊を形どった硯	巽淳一郎	49	94 6	続・頭塔	小野 健吉	83	97 4	文例集の削屑	渡邊晃宏
16	91 8	宮殿下に眠る古墳	岸本 直文	50	94 7	よみがえった大極殿	長尾 充	84	97 5	平城宮大極殿跡と朝堂院跡	内田 和伸
17	91 9	役人の勤務評定	寺崎 保広	51	94 8	古代、都はうまい水を飲んでいたか?	小池 伸彦	85	97 6	大極殿十分の一模型	西山 和宏
18	91 10	庭の水と緑	高瀬 要一	52	94 9	奈良時代の梵鐘	杉山 洋	86	97 7	木の鍼	小林 謙
19	91 11	ものさし	島田 敏男	53	94 10	薬師寺は移建されたか?	岩永省三	87	97 8	妻を迎える木簡	玉田 芳英
20	91 12	中国へ伝わった日本扇	中村 慎一	54	94 11	見出しつきの文書の軸	渡邊晃宏	88	97 9	二七体目の石仏	岩永省三
21	92 1	平城京の鬼瓦	毛利光後彦	55	94 12	なぜ遺跡が地下に埋まっているのか?	高瀬 要一	89	97 10	病気退治の願い	館野 和己
22	92 2	淡路島から運ばれた瓦	山崎 信二	56	95 1	僧と尼	山岸 常人	90	97 11	一本くり抜きの井筒	平澤 穀
23	92 3	奈良時代の盗難届	渡邊晃宏	57	95 2	奈良時代のゴミ	白杵 熊	91	97 12	古代の庶民住宅事情	蓮沼麻衣子
24	92 4	宇奈多理の杜	小野 健吉	58	95 3	発掘調査に見る地震	玉田 芳英	92	98 1	とらのはなし	加藤 真二
25	92 5	建物を組み上げる	上野 邦一	59	95 4	屋根瓦	山崎 信二	93	98 2	黒光りする焼物	川越 俊一
26	92 6	最先端のベルト	白杵 熊	60	95 5	平城京の人口	寺崎 保広	94	98 3	平城宮朱雀門の瓦	山崎 信二
27	92 7	どじなギャンブラー	金子 裕之	61	95 6	大安寺西塔跡の保存	内田 和伸	95	98 4	奈良時代の住宅事情	古尾谷知浩
28	92 8	鏡の話(2)	杉山 洋	62	95 7	東朝集殿と唐招提寺講堂	箱崎 和久	96	98 5	石のカラト古墳	高瀬 要一
29	92 9	平城宮の出っぽり	小澤 穀	63	95 8	鉄で作った人形	小林 謙一	97	98 6	日本人と履き物	田辺征夫
30	92 10	奈良時代のIDカード	森 公章	64	95 9	古代の覚醒剤(シャブ)	立木 修	98	98 7	古代のビーズづくり	次山 淳
31	92 11	杯をはこぶ舟	高瀬 要一	65	95 10	大極殿の転変	小澤 穀	99	98 8	頭塔下古墳の発見	金田 明大
32	92 12	今昔住宅事情	藤田 盟児	66	95 11	「封筒」としての木簡	館野 和己	100	98 9	?	?
33	93 1	輸入された陶磁器	玉田 芳英	67	95 12	都の街路樹	平澤 穀	101			
34	93 2	季節を示す古代の種	佐川 正敏	68	96 1	酒造りの建物	浅川 澄男	102			